

個 別 注 記 表

I. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 固定資産の減価償却の方法

定額法を採用しております。

2. 引当金の計上基準

退職給付引当金は、従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務の見込額に基づき計上しております。

3. その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理は、税抜方式によっております。

II. 会計処理の変更

1. 貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準等

18年度から「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成17年12月9日 企業会計基準第5号）及び「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準等の適用方針」（企業会計基準委員会 平成17年12月9日 企業会計基準適用指針第8号）を適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

なお、従来の「資本の部」の合計に相当する金額は変更ありません。

会社計算規則の施行に伴う貸借対照表の表示に関する変更は以下のとおりであります。

- (1) 従来の「資本の部」は、18年度から「純資産の部」となり、「純資産の部」は「株主資本」、として表示してあります。
- (2) 従来独立掲記しておりました「資本金」、「資本剰余金」及び「利益剰余金」は18年度より「株主資本」の内訳科目として表示しております。
- (3) 従来「利益剰余金」の内訳科目として表示しておりました「当期末処分損失」は、18年度から「その他利益剰余金」の内訳科目である「繰越利益剰余金」として表示しております。

III. 貸借対照表に関する注記

- (1) 記載金額は、千円未満を四捨五入して表示しております。

(2) 担保資産

担保に供している資産	建物（駐車場）	1,588,281,303 円
	機 械 装 置	36,823,750 円
	計	1,625,105,053 円
上記に対応する債務	1年内返済予定長期借入金	60,000,000 円
	長 期 借 入 金	833,408,000 円
	計	893,408,000 円

- (3) 有形固定資産の減価償却累計額 1,519,363,013 円

IV. 損益計算書に関する注記

- (1) 記載金額は、千円未満を四捨五入して表示しております。
- (2) 平成 15 年度から駐車場を 5 ヶ年契約で横須賀市都市施設公社に貸出し、定額の賃貸料を得ていましたが、当期からは当社の独自経営となり、毎月の駐車場売上をもとに算定した額が当社収入となりました。
- (3) 法人税、住民税及び事業税の中には法人事業税の外形標準課税(資本割)が含まれています。

V. 株主資本等変動計算書に関する注記

- (1) 記載金額は、千円未満を四捨五入して表示しております。
- (2) 当事業年度末における発行済株式の数
普通株式 20,000 株

VI. 税効果会計に関する注記

税務上の繰越欠損金等に対する将来の節税効果である前払税金の回収の可能性が不確実であるため、前払税金資産を計上していません。

VII. 関連当事者との取引に関する注記

会社等の名称	議決権等の所有 (被所有)割合	関連当事者との関係及び取引内容
横 須 賀 市	被所有 直接 40.56%	駐車場使用地の所有者
独立行政法人 中小企業基盤整備機構	被所有 直接 40.00%	高度化資金の神奈川県経由借入先

- (注) 1. 高度化資金の神奈川県経由当初借入額 22 億 5,640 万円、期末残高 8 億 9,340 万円。
2. 平成 18 年 5 月末日の返済金額 1 億 5,042 万円を 1 億 2,000 万円に変更。
 3. 平成 19 年 5 月末日の返済金額 1 億 5,042 万円を 1 億 1,000 万円に変更。
 4. 平成 20 年 5 月末日の返済金額 1 億 5,042 万円を 8,000 万円に変更。
 5. 平成 21 年 5 月末日の返済予定金額 1 億 5,042 万円を 6,000 万円に変更。

VIII. 1 株当たり情報に関する注記

- (1) 1 株当たり純資産額 40,018 円 60 銭
- (2) 1 株当たり当期純損失 1,604 円 16 銭